

感染症対策に役立っています

健康づくり課 ☎(88)8122



心も体も健康に(大東こども園デイサービス交流会)

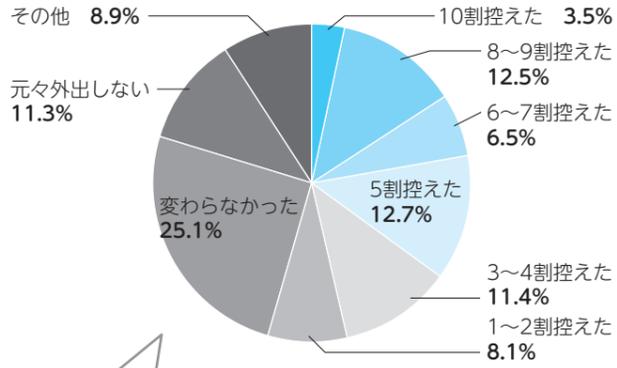
平成26年度から福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターと共同で取り組んでいる「健康長寿推進事業」の一環として、新型コロナウイルス感染症の影響下での高齢者の行動や健康の状況について調査を行いました。今月号では、調査結果の中から主なものを紹介します。

緊急事態宣言中の状況を調査

健康長寿推進事業は、高齢者の健康に関する調査と医療や介護の情報を結び付けて分析し、その結果を市の健康増進や疾病予防の取り組みに生かすために行っています。令和2年10月に「健康長寿追加調査」を実施し、令和2年4月から5月にかけての緊急事態宣言中の状況を調査しました。

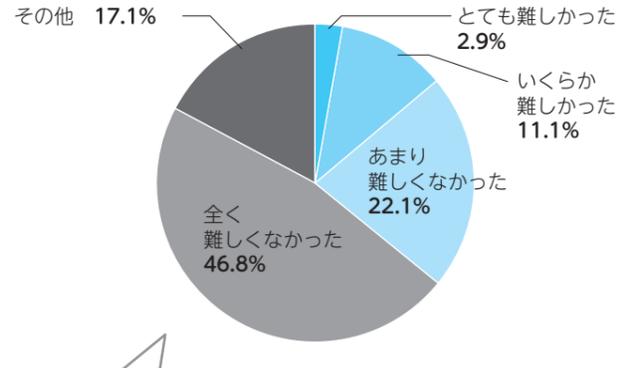
設問は全部で69項目で、75歳以上の対象者8725人のうち4797人から回答がありました(回答率54.9%)。この結果は、今後、市の感染症対策などに役立っています。

● 新型コロナウイルス感染症流行前と比べて、緊急事態宣言中、どの程度外出を控えましたか。



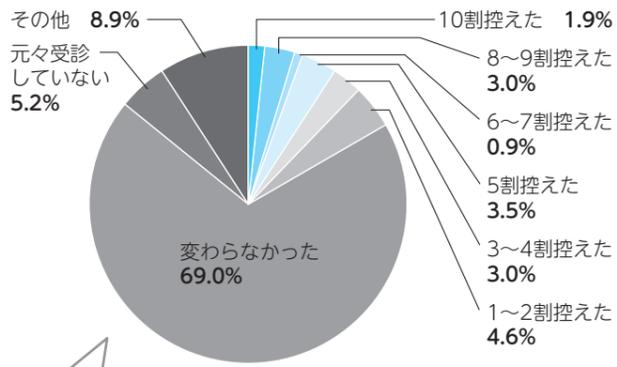
緊急事態宣言中に半数以上の方が外出を控えていました。

● 緊急事態宣言中、どの程度必要な医療を受けることが難しかったですか。



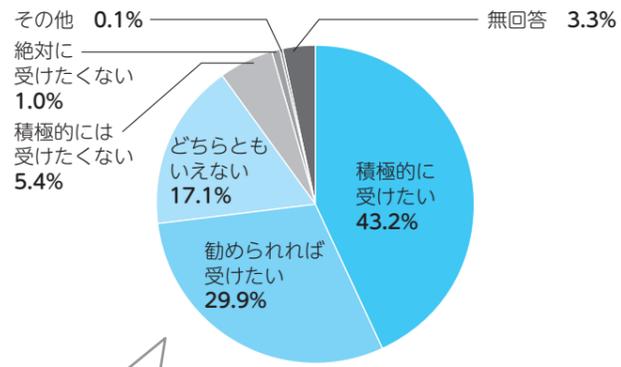
緊急事態宣言中に必要な医療を受けるのに困難を感じた人は約14%でした。

● 新型コロナウイルス感染症流行前と比べて、緊急事態宣言中、どの程度定期的医療機関の受診を控えましたか。



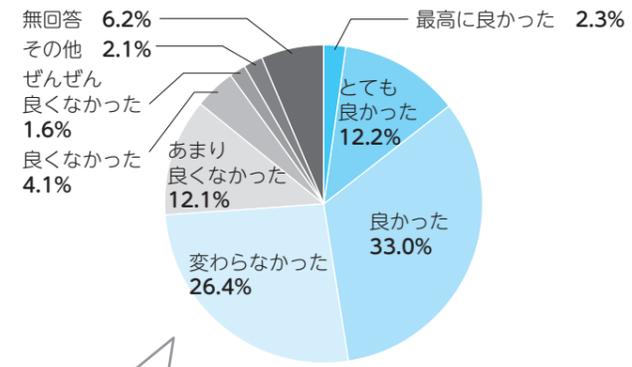
緊急事態宣言中に定期受診を控えた人は約17%でした。

● 新型コロナウイルス感染症の予防接種があれば受けてしたいと思いますか。



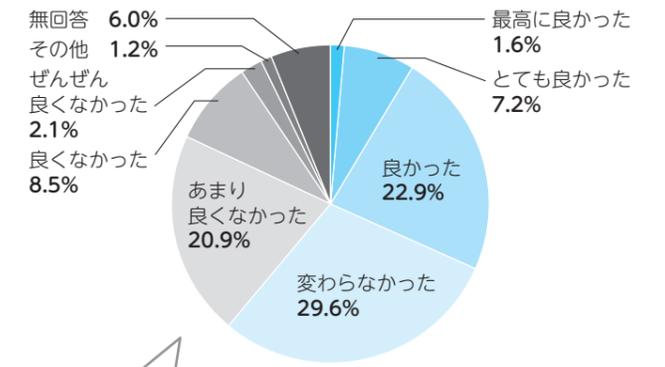
新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けたい人は約73%でした。

● 新型コロナウイルス感染症流行前と比べて、緊急事態宣言中の身体の状態はいかがでしたか。



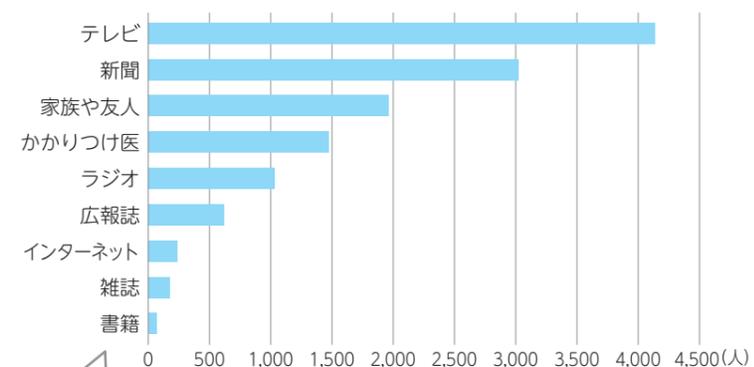
緊急事態宣言中に身体の状態が悪化した人は約18%でした。

● 新型コロナウイルス感染症流行前と比べて、緊急事態宣言中の心や気持ちの状態はいかがでしたか。



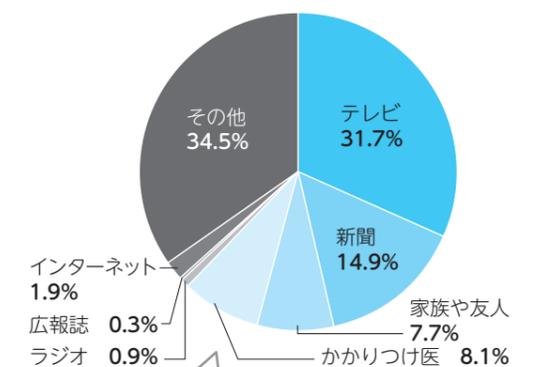
緊急事態宣言中に心や気持ちの状態が悪化した人は約31%でした。

● 新型コロナウイルス感染症に関する情報源として、普段よく頼る物や人についてあてはまる項目をすべて選んでください。(複数可)



新型コロナウイルス感染症について頼る情報源は、テレビや新聞に続いて家族や友人、かかりつけ医が上位に挙がりました。

● 左の項目のうち、最初に調べるのは次のどれですか。



新型コロナウイルス感染症について最初に調べる情報源は、テレビや新聞が約半数でした。

新型コロナウイルスワクチン

9月1日から集団接種会場を変更

9月1日(水)から、集団接種会場が須賀川アリーナからグランシア須賀川(池上町74)に変更となります。
※詳しくは、決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

ワクチンの不足により接種券の発送が遅れています

ワクチンを効果的かつ効率的に接種するため、接種を受ける際に必要な接種券は年齢区分ごとに段階的に送付していますが、64歳以下の人については、国から配分されるワクチンの供給量不足のため、接種券の発送が遅れています。

今後、国からのワクチン供給量に合わせ、接種券を順次発送していきますので、もうしばらくお待ちください。最新の発送状況については、市ホームページや市公式LINEをご覧ください。



市ホームページ
ワクチン情報



市公式LINE
アカウント

市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

☎ 0120(567)455(フリーダイヤル)
※受付時間：午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日も開設)

健康づくり課 ☎(88)8122



福島県立医大医師から

本調査は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する早期に、全国に先駆けて実施することができた先進的な取り組みで、調査結果は大変貴重な情報です。対象は、新型コロナウイルス感染症だけでなく、医療危機においてとりわけ影響を受けやすい75歳以上の市内在住の後期高齢者で、約55%の方がご回答くださいました。

本調査から、新型コロナウイルス感染症拡大における初めての緊急事態宣言が、市民の皆さんの生活に少なからず影響があることがわかりました。行動制限などに伴うストレスが、ご高齢の皆さんにとって、身体的および、精神的な負担を及ぼしていたことが伺い知れます。

須賀川市でもワクチン接種が開始され、新たな日常生活を取り戻していく段階にあります。市民の皆さんの健康をサポートできるよう、更に分析を進めてまいります。(竹島教授・高山助教)